

## 【ハスクバーナ・ゼノア株式会社】

創立1910年8月 東京瓦斯工業株式会社として創業し、旧小松ゼノアが3社に分社した後、2007年12月 ハスクバーナ・ジャパン株式会社と合併し、現在の社名になりました。

今回は、人事・総務部 橋本部長、市川課長にいろいろとお話をいただきました。

日本での前進としては106年ですが、親会社であるスウェーデンのハスクバーナ社1689年創業の鉄砲製造会社をルーツ



エンジン式チェーンソー・刈払機

としており、なんと325年の歴史のある会社です。会社のロゴマークは、鉄砲の照準器をイメージしているとのこと。

ハスクバーナグループはグローバルNo.1の農林・造園機器メーカーで、こちらの川越事業所においてはゼノアブランド、製品の開発、生産、販売を行っています。おなじみの機器では、エンジン式の刈払機・チェーンソーなどがあります。

社員の皆さんは、芝刈りやチェーンソ作業の横を通ると自社の製品を使用しているのか、エンジン音で分かるそうです。ゼノアエンジンは、排ガスをクリーンにする技術で業界をリードしています。

以前、「アメトック」というテレビ番組で、チュートリアルの徳井さんが、ハスクバーナのオートバイを愛用していると紹介されていました。オートバイマニアの方にはなじみがあるかもしれません。



会社ロゴマーク

最近、力を入れている商品は、ロボット芝刈機『AUTOMOWER TM330X』。

これは掃除機ロボットの屋外版といえるもので、自動の芝刈りロボットです。電池を消費すると、自分で充電ステーションに行き再稼動する優れたものです。

広い敷地の芝生の管理は、とても大変です。工業会員の皆様には是非、ご紹介したい商品ですので、ホームページ(動画)をご覧ください。



『AUTOMOWER TM330X』